



国語科

第2回

わくわく授業づくりワークショップ

本ワークショップへのご参加，ありがとうございます。
ご参加いただくにあたり以下のことに留意してください。

- ①入室の際は【都道府県・所属・名前】を入力してください。
(例) 香川・附属坂出小・岡根泰右
- ②マイクはOFFにしてください。
- ③録音・録画はご遠慮ください。
- ④チャットを使ってご意見・ご質問を受け付けます。
- ⑤飲食はご自由にどうぞ♪

※開始時刻17:30まで，しばらくお待ちください。

国語科の授業づくりのポイント

- ① 付けたい力の明確化
- ② 言語活動の設定
- ③ 単元計画
- ④ 合理的配慮
- ⑤ 評価



①付けたい力の明確化

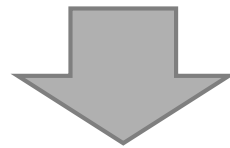
○教材研究

- ・扱う教材の内容，文章構成 等

○学習指導要領における指導事項

○子供の実態

- ・これまでの学びの積み重ね



**単元で指導することを
重点化する**



①付きたい力の明確化

1、教科書の指導書等で、その教材の
目標を確認する。



～第2学年『ニューゴ』～

◆単元の目標

人物の行動や気持ちを具体的に想像し、
想像したことを音読で表すことができる。

◆学習指導要領

【知技】(1)ク

【思判表】C(1)イエ

①付きたい力の明確化

2、目標に合う指導事項について、学習指導要領で確認する。



【知技】(1)ク

ク：語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

【思判表】C(1)イエ

イ：場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。

エ：場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

①付きたい力の明確化

【思判表】 C(1)エ



エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

第1学年及び第2学年においては、イの指導事項で内容の大体を捉えたことを基に、場面の様子に着目して、登場人物の行動や会話について、何をしたのか、なぜしたのかなどを具体的に思い描きながら、その世界を豊かに想像することを示している。

物語は通常複数の場面によって構成され、展開に即して時間や場所、周囲の風景、登場人物などの様子の変化しながら描かれている。場面の様子に着目するとは、登場人物の行動を具体的に想像する上で、物語の中のどの場面のどのような様子と結び付けて読むかを明らかにすることである。

登場人物の行動を具体的に想像するとは、着目した場面の様子などの叙述を基に、主人公などの登場人物について、何をしたのか、どのような表情・口調・様子だったのかなどを具体的にイメージしたり、行動の理由を想像したりすることである。これは、第3学年及び第4学年、第5学年及び第6学年の指導事項を経て、中学校第1学年の指導事項の「内容を解釈すること」へと発展していく指導事項であり、叙述と結び付けて想像することが大切である。

①付きたい力の明確化

3、指導要領等で 学年の系統性を確認する。

【思判表】C(1)エ

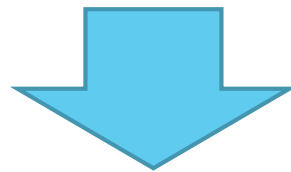
○精査・解釈（文学的な文章）



第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
エ 場面の様子に着目して、 <u>登場人物の行動</u> を具体的に想像すること。	エ 登場人物の <u>気持</u> ちの <u>変化や性格</u> 、 <u>情景について</u> 、 <u>場面の移り変わり</u> と <u>結び付けて</u> 具体的に想像すること。	エ <u>人物像や物語</u> などの <u>全体像</u> を具体的に想像したり、 <u>表現の効果</u> を考えたりすること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

4、子供の実態を把握する。

- これまでの学習で身に付いている力
- 単元や教材についての興味や関心
- 個の気質 など



普段の授業の見取り + 質問紙調査

①付きたい力の明確化

(3) 学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としている。このため、小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕の指導事項及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、重点を置くべき指導内容を明確にし、その系統化を図った。（系統表参照）

単元で何をねらうのか、付きたい力を絞って指導しましょう！

①付けたい力の明確化

- 1、教科書の指導書等で、その教材の目標を確認する。
- 2、目標に合う指導事項について、指導要領で確認する。
- 3、指導要領等で学年の系統性を確認する。
- 4、子供の実態を把握する。



②言語活動の設定

何のために、この物語を読まなければいけないのかな？



～のために、この物語を読んでいこう！



目的意識

この本が好き、
ここがお気に入り、
ここをもっと知りたい

②言語活動の設定

言語活動の設定

指導事項
(学習指導要領)

子供の実態

教材

楽しそう！
おもしろそう！

できそう！
やってみたい！

相手意識

適度な難しさ

②言語活動の設定

付けたい力に合う言語活動を選ぶ!

【言語活動例】

音読発表会，紙芝居，読書カード，紹介文，
クイズ，解説文，報告文，
物語（の続き）づくり，本の帯，ポップ，
リーフレット，パンフレット，ポスター，
○○図鑑，感想交流会 等

★言語活動を通して，資質・能力を育成する。

②言語活動の設定

- ・ 言語活動の見本（紹介カード等）を教師が提示する。
→ 「やってみたい！」という意欲

* 教師が前もって作ってみることで、指導の軽重や子供のつまずきそうなところ等に気付くことができる。



ゴール明示型の学習

第1学年 教材『どうやって身を守るのかな』

①学習の計画を立てよう

②やまあらしの 身の守り方を見付けよう

③あるまじろの 身の守り方を見付けよう

④すかんくの 身の守り方を見付けよう

⑤見付けた身の守り方を紹介しよう

⑥紹介し合った感想を交流しよう

ゴールの
設定

目的意識



ゴール明示型の学習

★きらきらステップ

もの語のせかいを **声** で
とどけよう。

人ぶつのように
をつたえる。

① グループ 本をきこめる
② グループを見直す

③ 内ようをたしかめる
(場めん分け)

④ 自分の本の内ようをたしかめる

⑤ 3. くわしくそうぞうして読む

⑥ 4. くわしくそうぞうして読む


⑦ 5. 分たん れん習

⑧ 6. 見せ合う

⑨ 7. **読み聞かせ本番**

場めん一
二
三
四
五

前半
後半



自分の本



③単元計画

1次：言語活動を設定し，学習計画を立てる。



音読劇をするためには、人物の行動を具体的に想像すればいいんだな！



2次：教材文を読んで，自力解決に向かうための思考の手掛かりを獲得する。

こうやって考えたら、いいんだね。

★思考の手掛かり



自信

想像したら、音読が上手になったよ！

★単元のゴールの意識

3次：共通教材での学びを生かして，自力で言語活動に向かう。

④合理的配慮



苦手な子供でも，分かる・できる
授業にするために

視覚化

焦点化

分かるように伝える工夫
活動に参加しやすくする工夫



私にもできる！
これで、いいんだ！



書くことが苦手な子は…

- ・ 教師が聞き取って書く。
- ・ 教師が書いたものをなぞる。
- ・ 一部を教師が書き，その続きを書く。
- ・ 板書の写真をノートに貼る。
- ・ 板書をPCに撮って，それを手元に置いて書き写す。
- ・ 書きやすいワークシートを使う。
（大事なところだけ書く等）
- ・ ICレコーダーやPCを使う。等



④合理的配慮

読むことが苦手な子には…

- ・ 拡大コピーや行間を広くした文書を渡す。
- ・ 指でなぞらせる。
- ・ 一行ずつ見える枠を使う。
- ・ 繰り返し読みをさせる。等



- **授業の本質は何か**
- 合理的配慮が必要な子供が特別視されないような学級づくりを

⑤ 評価

評価：児童の具体的な姿

①知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面

②①の粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとする側面

評価する場や方法の工夫

見取る内容を明確に

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【小学校国語】」より

児童が自ら学ぶ姿の評価

学習評価の改善の方向性

- ① **児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと**
- ② **教師の指導改善につながるものにしていくこと**
- ③ **これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと**

⑤評価

第6学年 物語から伝わってきたメッセージについて語り合おう ～『海のいのち』～

①物語を読んで感じたメッセージについて座談会をしてみよう

②立松和平の物語を読んで感じたメッセージについて座談会をする計画を立てよう

③④⑤『海のいのち』を読み，太一の成長を捉えよう

⑥『海のいのち』から伝わってくるメッセージを考えよう

⑦『海のいのち』座談会をしよう

⑧⑨自分が選んだ立松和平の「いのち」シリーズを読んで，座談会をしよう

適切な時間に評価を位置づける
※必ずしも，毎時間，評価するわけではない。

⑤ 評価

適切な時間に評価を位置づける

①物語を読んで感じたメッセージについて座談会をしてみよう

②立松和平の物語を読んで感じたメッセージについて座談会をする計画を立てよう

③④⑤『海のいのち』を読み、太一の成長を捉えよう

⑥『海のいのち』から伝わってくるメッセージを考えよう

⑦『海のいのち』座談会をしよう

⑧⑨自分が選んだ立松和平の「いのち」シリーズを読んで、座談会をしよう

それぞれの場面から太一の生き方を読む。また、物語全体を通して、伝わってくるメッセージを考える。

【主体的に学習に取り組む態度】
複数の叙述を基に、太一の生き方について粘り強く考えている。さらに、友達と交流し、自分の考えを再考し、よりよいものにしようとしている

⑤ 評価

適切な時間に評価を位置づける

①物語を読んで感じたメッセージについて座談会をしてみよう

②立松和平の物語を読んで感じたメッセージについて座談会をする計画を立てよう

③④⑤『海のいのち』を読み、太一の成長を捉えよう

⑥『海のいのち』から伝わってくるメッセージを考えよう

⑦『海のいのち』座談会をしよう

⑧⑨自分が選んだ立松和平の「いのち」シリーズを読んで、座談会をしよう

物語全体を通して、伝わってくるメッセージについて友達と共有し、よりよい考えにしていく。

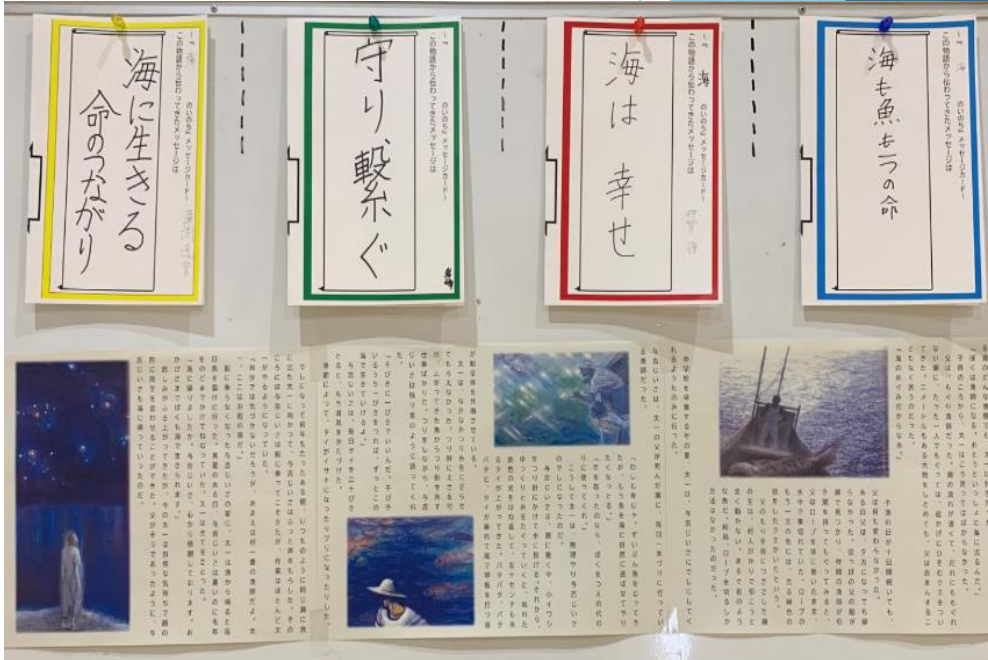
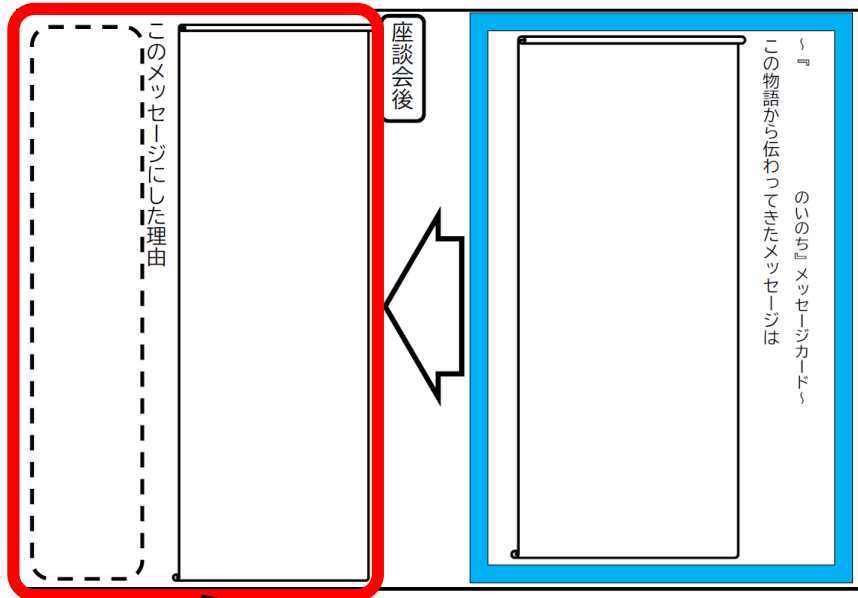
【主体的に学習に取り組む態度】

物語全体を通して伝わってくるメッセージについて友達と交流し、自分の考えを再考し、より納得する考えにしようと粘り強く取り組んでいる。

⑤ 評価

ワークシートやノートへの記述（評価の具体例）

思考・判断・表現 C読むこと：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。



友達と考えを共有，友達のと自分の考えの違いに気付いたり，互いの考えのよさを感じている。

※必ずしも，考えが修正・付加される必要はない。

⑤ 評価

主体的・対話的で深い学び = ゴールではない

授業改善の視点



児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。

学習意欲の向上など、学習改善につながる評価

アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。

チャットにありますURLより、アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



⑥フリータイム

ご意見や、ご質問がありましたら
お願いいたします。

